

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	リコシエ88	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.044	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：リコシエ88

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：スピード・リコシエ

フレアーの幅 インチ

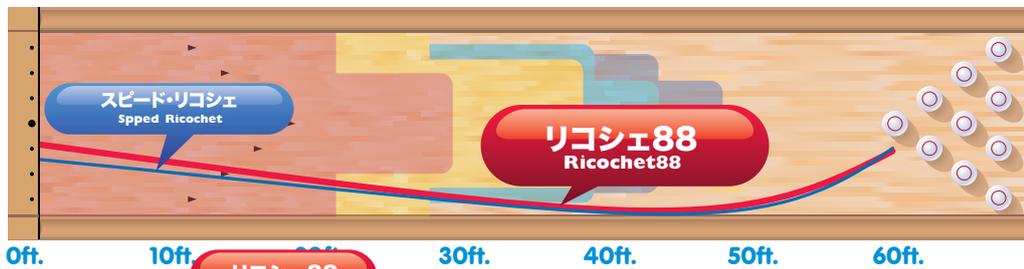
PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

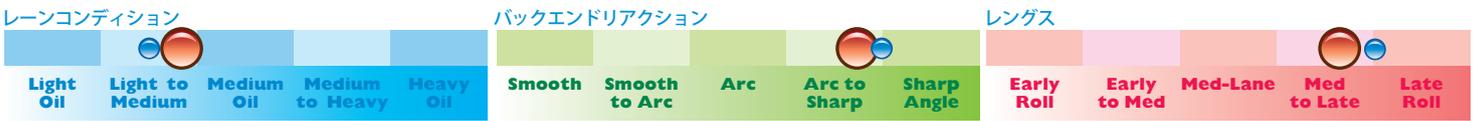
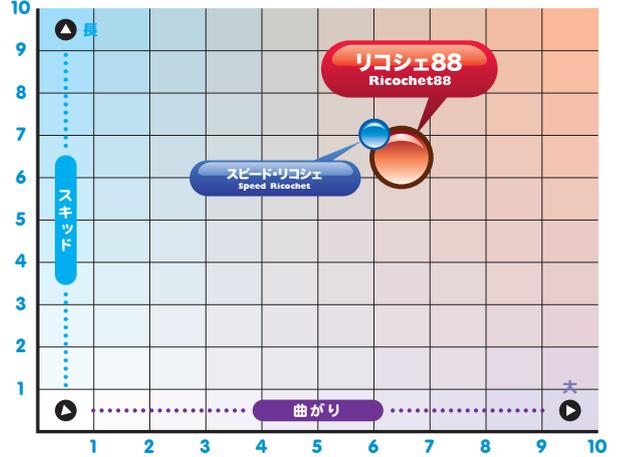
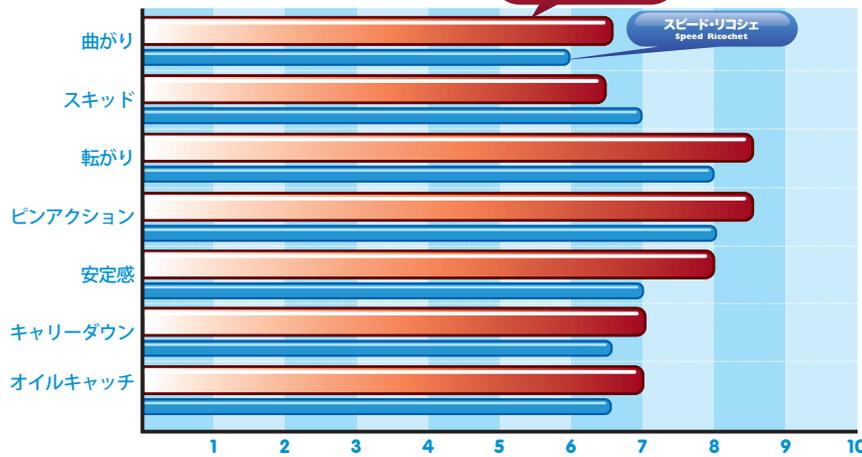
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

一年ぶりに満を持してのリコシエ復活！

ABS記念モデルとも言えるこのリコシエ88の開発コンセプトは「十分なスキッドとフリップ状の切れ」。対応コンディションをミディアムライトを基準にし、コロムビア社でもスキッド能力の高い走るカバーストックに日本オリジナルの添加物を混入。過激に切れるイメージというよりは扱いやすい切れを意識し作り上げました。

リアティブカバーが年々向上されることと同時に起こる削られるレーンヘッドやミッドエリアのオイル。ポケットまで入射角を取る為のカバーストック向上も「両刃の剣」であり、オイルとドライの差を感じすぎるリアクションへの影響。他のボールで感じすぎてしまうその段差をいかに幅広くアジャスト幅を持つことができるか。「オイルの濃淡における急激なリアクションの差を少なくし、安定したポケットへのラインの供給」をこのリコシエ88は叶えてくれるでしょう。

ミディアムライトのコンディションをターゲットに仕上げているので、厚い手前のオイルやキャリーダウンには顕著に反応を示しますので、ボウラーのタイプにもよりますが、大会の後半や夜のリーグ、ウッドベースのフランチャイズのコンディション等、やや遅めのコンディションを中心に使用して頂く事をオススメします。

現在のボール事情はハイパフォーマンスからミディアムコンディション対応の性能のボールが殆どであり、そのボールの後に使用できるボールを選ぶとなると選択肢は限られるでしょう。その少ない選択肢の中でもリアクションからピンアクションに至るまでより優れたものを持つとすることは必然です。大会等でコンディションが遅く感じてからスコアメイクに苦しんでいる方はこのリコシエ88を試す価値はあると思います。

特記事項

リコシエの代名詞でもある過激なリアクションを避けてまでも追いかけたものがある。その拘りをこの88で感じてください。安定感のあるリアクションはきっと貴方のスコアメイクの中心的ボールとなるでしょう。